

2023年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月14日

上場会社名 株式会社GRCS 上場取引所 東
 コード番号 9250 URL https://www.grcs.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 慈和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 田中 郁恵 TEL 03 (6272) 9191
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第2四半期の連結業績（2022年12月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第2四半期	1,366	-	△125	-	△131	-	△160	-
2022年11月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2023年11月期第2四半期 △156百万円 (-%) 2022年11月期第2四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第2四半期	△125.44	-
2022年11月期第2四半期	-	-

(注) 1. 当社は、2022年11月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年11月期第2四半期の数値及び2023年11月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。
 2. 2023年11月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第2四半期	1,610	325	17.7
2022年11月期	1,500	481	29.6

(参考) 自己資本 2023年11月期第2四半期 284百万円 2022年11月期 444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年11月期	-	0.00	-	-	-
2023年11月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年11月期の連結業績予想（2022年12月1日～2023年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,005	25.3	36	-	21	-	5	-	3.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 連結業績予想の修正については、本日（2023年7月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年11月期2Q	1,310,020株	2022年11月期	1,309,800株
② 期末自己株式数	2023年11月期2Q	29,800株	2022年11月期	29,800株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年11月期2Q	1,280,073株	2022年11月期2Q	1,309,133株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年7月14日(金)に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会の開催を予定しており、当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社グループは、前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますが、参考として、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績と前第2四半期累計期間の個別経営成績の比較情報を記載しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善傾向にあり景気は緩やかに回復しております。しかしながら、世界的な金融引き締め等が続く中、海外景気の下振れリスクや金融資本市場の変動が懸念される状況が続いております。

当社グループが属する事業環境においては、サプライチェーンマネジメントの整備やESG投資・SDGs推進を考慮したリスクマネジメントへの取組みが進む等、GRC及びセキュリティ領域への対応に関心が高まる状況となりました。

このような環境の中、当社グループは、GRC及びセキュリティの視点に着目し、日本企業の成長や外部環境の変化に伴い増加する脅威や企業課題を解決する事業を展開しております。テクノロジーを活用して情報管理が属人的かつ複雑な業務の効率化を図り、迅速な経営判断や企業成長の最大効率化を支援しております。

当第2四半期連結累計期間においては、既存顧客へのアップセルが堅調に推移したことに加えて、プロダクトを中心に新規顧客との取引が増加いたしました。「外部委託先管理」や「マネーロンダリング対策」などのキーワードに対してDX需要が高い金融業界からの引合いが増加し、「個人情報管理」ではグローバル企業を中心に新規取引を拡大しております。また、フィナンシャルテクノロジーのサービス強化や費用効率の向上を図るためEOS Software Limitedから金融テクノロジーソリューション事業の譲受を行い、ワールドクラスの開発チームが資本市場における先端テクノロジーの情報を収集しソリューションを一気通貫で提供できる体制を整えると同時に、労務費の低減に努め売上高総利益率の改善に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,366,361千円（前年同期比22.7%増）、売上総利益345,028千円（同44.8%増）、営業損失125,937千円（前年同期は営業損失9,990千円）、経常損失131,002千円（前年同期は経常損失16,592千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失160,578千円（前年同期は四半期純損失12,040千円）となりました。

なお、当社グループはGRCソリューション事業の単一セグメントであり、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ109,940千円増加し1,610,438千円となりました。

長期間の請負契約に係る債権の回収により、売掛金及び契約資産が102,648千円減少いたしました。また、フィナンシャルテクノロジーを強化するための事業譲受を行い、譲受対価の支払等により現金及び預金が84,086千円減少、のれんが235,119千円増加いたしました。

これらが主な要因となり、資産合計が増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ266,224千円増加し1,285,018千円となりました。

事業譲受対価のうち譲受完了時点で将来的な支払が確定している債務を認識し、長期未払金が100,000千円増加いたしました。また、金融機関からの資金調達により長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が17,758千円増加、短期借入金が74,998千円増加、社債の発行により社債（1年内償還予定の社債を含む）が100,000千円増加いたしました。

これらが主な要因となり、負債合計が増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ156,284千円減少し325,419千円となりました。

これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が160,578千円減少したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は17.7%（前連結会計年度末29.6%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、763,367千円となり、前連結会計年度末残高に比べ84,086千円減少いたしました。なお、当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は118,390千円(前年同四半期176,936千円の支出)となりました。

資金の主な増加要因は、長期間の請負契約に係る債権の回収による売上債権の減少額102,648千円、プロダクトの販売によるサブスクリプション収入の契約負債の増加額55,456千円であります。

資金の主な減少要因は、仕入債務の支払による減少額47,180千円、プロダクトのライセンス仕入による前渡金の増加額67,926千円、税金等調整前四半期純損失131,002円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は156,464千円(前年同四半期45,059千円の支出)となりました。

これは主に、事業譲受による支出150,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は190,765千円(前年同四半期21,357千円の収入)となりました。

これは主に、事業投資やM&A等に柔軟に対応することを目的とした、長期借入れによる収入100,000千円、社債の発行による収入97,569千円、約定返済となる長期借入金の返済による支出82,242千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、GRCソリューション・プロダクトの案件において継続を見込んでいたパートナー企業である外資系大手会計コンサル会社からの失注が発生し、また、フィナンシャルテクノロジーの案件において当期見込んでいた一部案件の受注時期が翌期以降になる見通しとなったことにより、売上高が計画を下回る見通しであることに加えて、事業譲受に関するアドバイザー費用の計上により販売費及び一般管理費が増加する見込みとなりました。

これらが主な要因となり、各段階利益が計画を下回る見通しとなったため連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2023年7月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	847,454	763,367
売掛金及び契約資産	397,931	295,283
仕掛品	362	4,813
前渡金	25,644	93,570
前払費用	35,537	55,034
その他	11,010	2,721
流動資産合計	1,317,941	1,214,792
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	41,529	40,175
工具、器具及び備品(純額)	734	5,167
有形固定資産合計	42,264	45,342
無形固定資産		
ソフトウェア	11,378	8,954
のれん	—	235,119
無形固定資産合計	11,378	244,073
投資その他の資産		
長期前払費用	1,320	1,127
繰延税金資産	84,455	65,195
差入保証金	43,138	37,293
その他	0	250
投資その他の資産合計	128,913	103,866
固定資産合計	182,556	393,282
繰延資産		
社債発行費	—	2,362
繰延資産合計	—	2,362
資産合計	1,500,497	1,610,438

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,127	75,946
短期借入金	29,165	104,163
1年内償還予定の社債	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	142,788	157,788
未払費用	185,573	163,354
未払法人税等	18,086	11,678
未払消費税等	37,785	20,605
契約負債	65,465	120,921
預り金	7,072	7,964
賞与引当金	148	10,253
流動負債合計	609,212	692,676
固定負債		
社債	—	80,000
長期借入金	396,379	399,137
資産除去債務	13,202	13,205
長期未払金	—	100,000
固定負債合計	409,581	592,342
負債合計	1,018,793	1,285,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	299,200	299,420
資本剰余金	263,669	263,889
利益剰余金	△18,753	△179,331
自己株式	△99,713	△99,713
株主資本合計	444,403	284,264
新株予約権	317	317
非支配株主持分	36,983	40,837
純資産合計	481,703	325,419
負債純資産合計	1,500,497	1,610,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
売上高	1,366,361
売上原価	1,021,333
売上総利益	345,028
販売費及び一般管理費	470,966
営業損失(△)	△125,937
営業外収益	
受取利息	4
受取賃貸料	727
その他	382
営業外収益合計	1,114
営業外費用	
支払利息	3,752
為替差損	2,184
その他	242
営業外費用合計	6,179
経常損失(△)	△131,002
税金等調整前四半期純損失(△)	△131,002
法人税、住民税及び事業税	6,462
法人税等調整額	19,259
法人税等合計	25,721
四半期純損失(△)	△156,724
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,854
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△160,578

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
四半期純損失(△)	△156,724
四半期包括利益	△156,724
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△160,578
非支配株主に係る四半期包括利益	3,854

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△131,002
減価償却費	5,704
のれん償却額	14,880
受取利息	△4
支払利息	3,834
為替差損益(△は益)	△2
売上債権の増減額(△は増加)	102,648
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,451
仕入債務の増減額(△は減少)	△47,180
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,105
契約負債の増減額(△は減少)	55,456
前渡金の増減額(△は増加)	△67,926
未払費用の増減額(△は減少)	△16,970
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,179
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	531
その他の資産の増減額(△は増加)	△20,770
その他の負債の増減額(△は減少)	892
その他	70
小計	△111,363
利息の受取額	4
利息の支払額	△3,323
法人税等の支払額	△13,060
法人税等の還付額	9,352
営業活動によるキャッシュ・フロー	△118,390
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△6,358
資産除去債務の履行による支出	△5,700
事業譲受による支出	△150,000
差入保証金の差入による支出	△7,848
差入保証金の回収による収入	13,692
その他	△250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156,464
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	74,998
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△82,242
社債の発行による収入	97,569
新株予約権の行使による株式の発行による収入	440
財務活動によるキャッシュ・フロー	190,765
現金及び現金同等物に係る換算差額	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△84,086
現金及び現金同等物の期首残高	847,454
現金及び現金同等物の四半期末残高	763,367

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

第1四半期連結会計期間において、フィナンシャルテクノロジーの案件に関しては、従業員の給与変動が少ないため、稼働時間を基に進捗度を見積ることが合理的であると判断し、一定の期間にわたって充足される履行義務の進捗度の見積方法を、従来の見積りプロジェクト総原価に占める発生原価の割合によるインプット法から、見積り総工数に対する発生工数の割合に基づくインプット法へ変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、GRCソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。